

親になるということ

自分に子どもができた瞬間というのは、誰もが喜びと感動に満ち溢れる瞬間です。生まれてきた子どもの表情、かわいい手足の動き、みるみる顔が赤くなって鳴き声を上げる姿、すやすやと眠っている顔や微笑む顔、何を見ても可愛くて仕方ありません。

しかし子育てとなると、夜泣きや突然の発熱やけがなどで疲れがたまったり、心配したりすることが多くなっていきます。子どもが成長していくにつれ親の思うように育ってくれないということもあり、子育ての中で悩むことも多くなってきます。私自身、子育てで悩むこともありました。小学校の校長室で、自分の子どものしたことで関係の保護者と話し合いの会を持ち、保護者の方や当時の校長先生にお詫びしたこともありました。その帰り自分の子どもを車に乗せ、少し遠回りをしながら親としての気持ちや思いを話したのを覚えています。

子どもが生まれたから親にはなれたのですが、子どもを育てながら、悩みながら、怒ったり泣いたり笑ったり、子どものことを真剣に考えたりしながら、親は親になっていくのだと思っています。子どもが自分の手から離れ、自分の足で社会を歩むようになるまでは、親が導いてやらなければなりません。親として毅然とした態度で接しなければならない時もあるでしょう。だめなものはだめだと子どもに対峙しなければならない時もあります。その全てを通して親になっていくのだと思います。

子育てのことで困られたことがあれば、学校に相談してください。通級指導をしている教員も羽合小学校にはいますし、スクールカウンセラーや学校以外の関係機関につなげることもできます。相談する窓口はいくらでもあります。

子どもに関わる期間は長いようで結構短いものです。小学生の頃はまだ近寄ってきますが、中学生になると子どもはあまり話さなくなってくるし、高校生になると家にいることが少なくなり、大学生になれば、家に帰らなくなってしまいます。(私の場合です) 小学校のこの時期が子ども達にしっかりかかわれる、子ども達にとっても親にとっても大切な時期だと思います。子どもの生活習慣の定着や心の安定には、家庭での協力が不可欠です。子どもたちが、これからの社会でたくましく生きていくための素地づくりに、ともに取り組んでいきましょう。



湯梨浜町からマスク

以前学校便りでお知らせしていたマスクが、湯梨浜町から学校に届きました。5月の連休明けに臨時議会が開かれ、町内の児童生徒1人に10枚のマスクを配布する予算が通り、羽合小に届けられたものです。2回に分けて届くそうで、今回は1人5枚のマスクを配ります。各家庭で有効活用していただければと思います。日本製の抗ウィルスマスクだということです。本当にありがとうございました。